

2023年11月14日

各位

会社名 環境のミカタ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 和良
 (コード：9224 TOKYO PRO Market)
 問合せ先 取締役管理本部長 青木 克之
 電話番号 054-622-1130

**2023年9月期連結業績予想値と実績値及び個別業績と前年実績値との差異
 並びに特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ**

当社は、2023年9月期連結決算において、特別利益（負ののれん発生益）を計上するとともに、2023年9月15日に公表いたしました、2023年9月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年9月期の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生について

2023年5月15日に公表しました「株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり当社は2023年6月2日にデジタルピュアリサイクル株式会社（旧 シーピーセンター株式会社）の株式を取得し、当社の連結子会社といたしました。これに伴う会計処理として、2023年9月期において105百万円の特別利益（負ののれん発生益）を計上いたしました。

2. 2023年9月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2022年10月1日～2023年9月30日)

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 連結 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,836	65	30	33	240.03
当期実績 (B)	1,852	42	4	106	942.37
増減額 (B - A)	16	△23	△26	73	-
増減率 (%)	0.9	△35.4	△86.7	221.2	-
(ご参考) 前期実績 (2022年9月期)	1,958	156	139	99	896.36

3. 2023年9月期通期個別業績と実績値との差異（2022年10月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 1,743	百万円 127	百万円 117	百万円 93	円 銭 841.92
当期実績（B）	1,671	23	3	△0	△8.20
増減額（B-A）	△72	△104	△114	—	—
増減率（%）	△4.1	△81.9	△97.4	—	—

4. 差異の理由

（連結）

営業利益及び経常利益については、当年度に実施した増資により外形標準課税対象法人となったことによる税金費用の増加や個別上で子会社株式の取得原価へ算入していたM&A関連費用が連結上で費用化されたこと等により、前回予想値を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記に記載のとおり特別利益（負ののれん発生益）を計上したことにより、前回予想値を上回る結果となりました。

（個別）

売上高については、原材料、エネルギー及び食料品等の物価の上昇や半導体部品不足によるメーカーの生産調整の実施等もあり、プラスチック関連廃棄物（RPF 資材）の排出量が減少したことから、前期実績値を下回ることとなりました。

営業利益については、売上予算未達の中、電力料金や原油価格の高騰により売上原価は対前年で大幅に増加する状況となったことから、売上原価の削減に取り組んでまいりましたが、限定的にとどまったことや、今後の営業展開のため積極的に人材の採用やM&Aに取り組んだことから、各種の支払手数料が増加したこと等により、前期実績値を下回る結果となりました。

経常利益及び当期純利益については、2024年4月稼働を予定しているRPF固形燃料製造施設の増設に係る費用をシンジケーション方式によるグリーンローンで調達したことから同ローンに係る手数料が増加したこと等により、前期実績値を下回りました。

※本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しております。実際の業績などは、今後の様々な要因によって、異なる結果となる場合があります。

以上